

(様式第9)

岡大病総第242号
平成20年10月2日

厚生労働大臣 殿

岡山大学病院長

森田

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	342.7人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	220人	259人	415.7人	看護業務補助	3人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	97人	68人	141.8人	理学療法士	6人	臨床検査技師	52人
薬剤師	40人	0人	40.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人	その他	0人
助産師	25人	0人	25.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	796人	18人	809.1人	臨床工学技士	18人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	14人	1人	14.7人	歯科技工士	6人	事務職員	155人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	19人

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	674.1人	18.4人	692.5人
1日当たり平均外来患者数	1,605.6人	570.7人	2,176.3人
1日当たり平均調剤数		1,190.6	剤

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	10人
インプラント義歯	有・無	45人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	5人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	1人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	1人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31鱗一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理 有・無	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化リンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	(有)・無	5人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	(有)・無	6人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	(有)・無	53人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	(有)・無	117人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	(有)・無	23人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

先進医療の種類 (平成20年4月保険収載分)	届出受理	取扱い患者数
歯周組織再成誘導法	(有)・無	6人
接着ブリッジによる欠損補綴並びに動搖歯固定	(有)・無	24人
生体部分肺移植術	(有)・無	2人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	114 人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	82 人
・多発性硬化症	52 人	・ウェグナー肉芽腫症	13 人
・重症筋無力症	137 人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	105 人
・全身性エリテマトーデス	287 人	・多系統萎縮症	41 人
・スモン	42 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5 人
・再生不良性貧血	53 人	・膿疱性乾癬	12 人
・サルコイドーシス	124 人	・広範脊柱管狭窄症	6 人
・筋萎縮性側索硬化症	74 人	・原発性胆汁性肝硬変	66 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	211 人	・重症急性膵炎	1 人
・特発性血小板減少性紫斑病	60 人	・特発性大腿骨頭壊死症	97 人
・結節性動脈周囲炎	55 人	・混合性結合組織病	36 人
・潰瘍性大腸炎	247 人	・原発性免疫不全症候群	7 人
・大動脈炎症候群	34 人	・特発性間質性肺炎	24 人
・ビュルガー病	32 人	・網膜色素変性症	47 人
・天疱瘡	39 人	・プリオン病	2 人
・脊髄小脳変性症	94 人	・原発性肺高血圧症	38 人
・クローン病	81 人	・神経線維腫症	36 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・亜急性硬化性全脳炎	2 人
・悪性関節リウマチ	27 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2 人
・ペーキンソン病関連疾患	368 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	7 人
・アミロイドーシス	7 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3 人
・後縦靭帯骨化症	97 人	・副腎白質ジストロフィー	3 人
・ハンチントン病	5 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	<p>【病理診断部門】 ・剖検症例検討会 月 1 回程度 ・消化器内科+消化管外科とのカンファレンス 週 1 回程度 ・乳腺・内分泌外科とのカンファレンス 年 4 回程度 【臨床検査部門】 ・総合診療内科との症例検討会 月 1 回程度</p>		
剖 檢 の 状 況	剖検症例数	20 例	剖検率 9.7 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
gp91phox遺伝子に対するsiRNAを用いた心不全に伴う心室性不整脈の治療	中村 一文	循環器内科	千円 900	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
原発性肺高血圧症患者の肺動脈平滑筋細胞における異常増殖・アポトーシス低下の機序の解明	中村 一文	循環器内科	1,000	(補) 委 国立循環器病センター
抗KCNH2(HERG)抗体による自己免疫性QT延長症候群の病態の解明	中村 一文	循環器内科	1,000	(補) 委 かなえ医薬振興財団研究助成
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	草野 研吾	循環器内科	3,500	(補) 委 厚生労働科学研究費補助金
催不整脈右室心筋症(ARVC)の病態と治療に関する研究	草野 研吾	循環器内科	800	(補) 委 国立循環器病センター
ALSの分子メカニズム解明と新規治療法開発の基礎的臨床的研究	阿部 康二	神経内科	4,500	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
ロー・カイネスを介するアポトーシスによる神經細胞死のメカニズムの解明	神谷 達司	神経内科	1,300	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
変異SOD1導入グリア細胞の運動ニューロン障害機序と細胞内骨格の動態	永井真貴子	神経内科	3,100	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
SOD1タンパクの修飾検出による筋萎縮性側索硬化症の原因究明	村上 哲郎	神経内科	1,200	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
ヘパラナーゼの機能解析-分化誘導機能と血管新生作用の解析と制御による癌治療開発-	猶本 良夫	消化管外科	1,430	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
高分化ヒト臍β細胞株を用いたバイオ人工臍臓開発の基礎的研究	小林 直哉	消化管外科	11,570	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒトES細胞の肝細胞分化誘導とそのバイオ人工肝臍システムへの応用	小林 直哉	消化管外科	10,920	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
ナノバイオテクノロジーを用いた肝不全治療用埋め込み型バイオ人工肝臍開発の基礎研究	小林 直哉	消化管外科	2,984.57	(補) 委 岡山県産業振興財団
糖尿病を標的としたバイオ人工臍臓の開発	小林 直哉	消化管外科	1,500	(補) 委 (財)ちゅうごく産業創造センター
消化器癌早期診断のためのエピジェネティックバイオマーカーの開発	松原 長秀	消化管外科	9,880	(補) 委 文部科学省科学研究費補助金
特異的プロモータを用いた肺腺癌に対する新規治療型ベクターの開発	松岡 順治	乳腺・内分泌外科	2,000	(補) 委 独立行政法人科学技術振興機構(JST)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小腸移植における骨髓由来樹状細胞門脈内投与による特異的免疫抑制の解析と臨床応用	松岡 順治	乳腺・内分泌外科	千円 1,430	補委 文部科学省科学研究費補助金
第三世代制限増殖ウイルスベクターを用いた彌漫性胸膜中皮腫に対する新規治療法の開発	松岡 順治	乳腺・内分泌外科	1,400	補委 文部科学省科学研究費補助金
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	土井原博義	乳腺・内分泌外科	3,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
EBウイルス潜伏感染と宿主免疫に起因する皮膚疾患の病態と予後の研究	岩月 啓氏	皮膚科	3,300	補委 文部科学省科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	2,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
ベーチェット病に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	1,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
室内環境中のホルムアルデヒドガスがアレルギー性皮膚炎に与える影響について	岩月 啓氏	皮膚科	5,000	補委 (社)日本化学工業協会 LRI研究プロジェクト
乾癬における転写因子GLISの働き及びそのNOTCHシグナルへの影響について	中西 元	皮膚科	900	補委 文部科学省科学研究費補助金
EBウイルス関連皮膚疾患における宿主免疫応答の解析	辻 和英	皮膚科	1,500	補委 文部科学省科学研究費補助金
デフェンシンの臨床応用	白藤 宜紀	皮膚科	1,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
EBウイルス関連疾患による全身・局所皮膚症状が引き起こされるメカニズムの解明	山本 剛伸	皮膚科	1,800	補委 文部科学省科学研究費補助金
人工網膜の製造ラインの整備	松尾 俊彦	眼科	2,500	補委 (財)障害者・難病患者援護センター(小山基金)
光電変換色素を使った人工網膜(岡山大学方式人工網膜)の安全性および機能性評価	松尾 俊彦	眼科	1,040	補委 文部科学省科学研究費補助金
カプセル化した幹細胞の脳内移植による神経疾患の治療	伊達 真	脳神経外科	4,700	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト臍帯血細胞を用いたパーキンソン病に対する細胞移植療法に関する研究	伊達 真	脳神経外科	1,400	補委 文部科学省科学研究費補助金
神経疾患に対する神経幹細胞を用いた細胞療法を臨床の場へ	伊達 真	脳神経外科	4,500	補委 文部科学省科学技術試験研究委託事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
電気刺激による脳内移植細胞の分化誘導法に関する研究	杉生 憲志	脳神経外科	千円 2,200	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
頸髄症モデルに対する神経栄養因子産生成体神経幹細胞の移植に関する研究	三好 康之	脳神経外科	900	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
血管透過性蛋白11Rによる脳卒中の治療効果に関する研究	小野 成紀	脳神経外科	1,100	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	65,000	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	森島 恒雄	小児科	800	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	森島 恒雄	小児科	500	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
小児における急性脳炎・脳症の病態・診断・治療に関する研究	森島 恒雄	小児科	7,930	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
プリオントウ病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	大塚 頌子	小児神経科	500	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
肺悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法に関する研究	金澤 右	放射線科	10,000	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	三村 秀文	放射線科	10,000	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
敗血症性多臓器障害に対する細胞保護療法の開発	片山 浩	集中治療部	1,560	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
急性呼吸不全に対する一酸化炭素吸入療法の開発	高橋 徹	集中治療部	1,560	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
新しい酸化ストレスのバイオマーカー：呼気一酸化炭素濃度	松三 昌樹	麻酔部	1,560	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
人工筋肉を用いた、麻痺手を動かすシステムに関する研究	千田 益生	総合リハビリテーション部	1,200	補助 文部科学省科学研究費補助金 委託
がん特異的増殖機能を有するウイルス製剤と高感度GFP蛍光検出装置を用いた体外超早期がん診断および体内微小リンパ節転移診断システムに関する研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	24,982	補助 厚生労働科学研究費補助金 委託

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線感受性ナノバイオ・ウイルス 製剤の開発と難治性固形癌に対する 臨床応用の検討	藤原 俊義	遺伝子・細胞 治療センター	千円 21,300	(補) 委 厚生労働科学 研究費補助金
テノメラーゼ依存症ウイルス製剤の 悪性中皮腫の分子病態に基づく診断・ 治療への応用	藤原 俊義	遺伝子・細胞 治療センター	9,360	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
微小リンパ節転移を標的とする選択 的ウイルス療法による消化器癌治療 の低侵襲化の試み	香川 俊輔	遺伝子・細胞 治療センター	2,990	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
歯周組織再生時のSmad2の発現調節 と上皮の入り込み制御に関する研究	塩見 信行	歯周科	500	(補) 委 小林孫兵記念 医学振興財団
上皮間葉相互作用を模倣した歯胚再 生モデルに関する研究-歯原性組織 の器官培養と胚性幹(ES)細胞を利 用した歯胚再生とマスターキー遺伝 子の解析-	窪木 拓男	補綴科 (クラウン&リッジ)	8,060	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
付着歯肉の分化に関連した特異的遺 伝子・蛋白の同定とその機能解析	窪木 拓男	補綴科 (クラウン&リッジ)	1,800	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
三叉神経痛において生じている一次 侵害受容神経過敏化のメカニズムの 解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科 (クラウン&リッジ)	3,900	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
咬合感覚異常症患者における末梢お よび中枢知覚神経活動の亢進と治療 法開発	松香 芳三	補綴科 (クラウン&リッジ)	1,800	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
三叉神経痛において生じている神経 節細胞過敏化のメカニズムの解明と 治療法開発	松香 芳三	補綴科 (クラウン&リッジ)	300	(補) 委 兩備檍園記念 財団生物学研 究部門
発生過程を再現する象牙質再生技術 の開発-歯胚や歯髄の不死化細胞株 樹立とその応用-	完山 学	補綴科 (クラウン&リッジ)	5,850	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
アパタイトコーティング層の微細構 造制御による新しい生体活性型イン プラント	前川 賢治	補綴科 (クラウン&リッジ)	4,420	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
アドレナリンレセプターの遺伝子多 型からみた慢性筋痛の病態解明と症 型分類	前川 賢治	補綴科 (クラウン&リッジ)	1,300	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
第二世代BMPを応用した口腔イン プラントの骨結合促進と歯槽骨再生	繩稚久美子	補綴科 (クラウン&リッジ)	1,690	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
II型可溶型TNF受容体を用いた重 度変形性頸関節症に対する局所サイ トカイン療法	上原 淳二	補綴科 (クラウン&リッジ)	2,340	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金
インプラント周囲の骨破壊活動性を 評価できるチェアーサイド検査シス テムの実用化	荒川 光	補綴科 (クラウン&リッジ)	1,040	(補) 委 文部科学省科 学研究費補助 金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
モノアミン遺伝子多型よりみた睡眠時プラキシズムの素因に関する分子遺伝学的研究	水口 一	補綴科 (クラウン&リッジ)	千円 1,820	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯髄幹細胞と歯根膜幹細胞を用いた機能的歯根再生の実現	園山 亘	補綴科 (クラウン&リッジ)	8,840	補委 文部科学省科学研究費補助金
頸関節症発症リスクとしての睡眠時プラキシズム頻度に関する前向きコホート調査	坂口千代美	補綴科 (クラウン&リッジ)	1,600	補委 文部科学省科学研究費補助金
骨吸収の分子遺伝子解析とプロピオノ酸菌発酵物質を用いた骨吸収抑制法の創出	菅原 利夫	口腔外科 (再建系)	13,130	補委 文部科学省科学研究費補助金
多分化骨髄細胞移植法によるヒト顎骨再生の効率化および組織生物学的評価法の確立	植野 高章	口腔外科 (再建系)	3,250	補委 文部科学省科学研究費補助金
破骨細胞分化メカニズムに関する免疫機能の分子生物学的解析	水川 展吉	口腔外科 (再建系)	2,860	補委 文部科学省科学研究費補助金
骨髄幹細胞の固定化サイトカインによる誘導および骨再生	山近 英樹	口腔外科 (再建系)	2,470	補委 文部科学省科学研究費補助金

計 69

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Lung Cancer 55(3): 343-348, 2007	Being overweight influences the development of hepatic dysfunction in Japanese patients with non-small-cell lung cancer undergoing cytotoxic chemotherapy	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
J Immunol 178(1): 480-488, 2007	Critical role of the Fc receptor gamma-chain on APCs in the development of allergen-induced airway hyperresponsiveness and inflammation	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Oncol Rep 17(2): 313-317, 2007	Gefitinib induces premature senescence in non-small cell lung cancer cells with or without EGFR gene mutation	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Cancer Sci 109(5): 939-948, 2007	Recent improvement in the survival of patients with advanced nonsmall cell lung cancer enrolled in phase III trials of first-line systemic chemotherapy	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Cancer Sci 98(2): 182-188, 2007	Characterization of the short isoform of helios overexpressed in patients with T-cell malignancies	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
International Journal of Oncology 30: 835-840, 2007	Identification of DR9-restricted XAGE antigen on lung adenocarcinoma recognized by autologous CD4 T-cells	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Lung Cancer 58(1): 30-35, 2007	Mutation of the epidermal growth factor receptor gene in the development of adenocarcinoma of the lung	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
PLoS ONE 2(8): 803, 2007	Whole blood interferon-gamma assay for baseline tuberculosis screening among Japanese healthcare students	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Cancer Res 67(16): 7807-7814, 2007	Emergence of epidermal growth factor receptor T790M mutation during chronic exposure to gefitinib in a non-small cell lung cell line	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Cancer Res 67(13): 6007-6011, 2007	Lineage-specific dependency of lung adenocarcinomas on the lung development regulator TTF-1	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Lung Cancer 58(1): 15-20, 2007	Point mutation of K-ras gene in cisplatin-induced lung tumours in A/J mice	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
J Thorac Oncol 2(5): 402-407, 2007	Relationship between response and survival in more than 50,000 patients with advanced non-small cell lung cancer treated with systemic chemotherapy in 143 phase III trials	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
J Thorac Oncol 2(7): 632-637, 2007	Clinical significance of epidermal growth factor receptor gene mutations on treatment outcome after first-line cytotoxic chemotherapy in Japanese patients with non-small cell lung cancer	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Anticancer Res 27(3B): 1737-1742, 2007	Role of early serial change in serum carcinoembryonic antigen levels as a predictive marker for radiological response to gefitinib in Japanese patients with non-smoall cell lung cancer	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Lung Cancer 59(1): 81-87, 2007	Elevated serum level of sialylated glycoprotein KL-6 predicts a poor prognosis in patoients with non-small cell lung cancer treated with gefitinib	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Arch Allergy Immunol 145(4): 324-339, 2007	Growth factors temporally associate with airway responsiveness and inflammation in allergen-exposed mice	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Am J Hematol 67(16): 7807-7814, 2007	Monitoring serum hepatitis C virus HCV RNA in patients with HCV-infected CD20-positive B-cell lymphoma undergoing rituximab combination chemotherapy	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Int J Cancer 120(10): 2191-2195, 2007	Aberrant promoter methylation in pleural fluid DNA for diagnosis of malignant pleural effusion	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Blood Coagul Fibrinolysis 18(5): 425-433, 2007	Induction of urokinase-type plasminogen activator, interleukin-8 and early growth response-1 by ST1571 through activating mitogen activated protein kinase in human small cell lung cancer cells	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
日本臨牀 65(1) 474-478, 2007	急性リンパ性白血病の治療:概論	谷本 光音	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Int Cancer 120(6): 1239-1247, 2007	The impact of epidermal growth factor receptor gene status on gefitinib-treated Japanese patients with non-small-cell lung cancer	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Lung Cancer 56(3): 445-448, 2007	EGFR mutation status in pleural fluid predicts tumor responsiveness and resistance to gefitinib	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
J Clin Oncol 25(25): 3952-3957, 2007	Epidermal growth factor receptor mutation status and adjuvant chemotherapy with uracil-tegafur for adenocarcinoma of the lung	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Clin Cancer Res 13(19): 5763-5768, 2007	The impact of sex and smoking status on the mutational spectrum of epidermal growth factor receptor gene in non-small cell lung cancer	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Int J Cancer 121(5): 1162-1167	Impact of HER2 and EGFR gene status on gefitinib-treated patients with nonsmall-cell lung cancer	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
J Thorac Oncol 2(1): 44-50, 2007	Triple combination chemotherapy with cisplatin, docetaxel, and irinotecan for advanced non-small cell lung cancer: a phase I/II trial	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
CT検診 14(2): 91-95, 2007	CTによる造船所近隣住民の胸膜プラークについての検討	木浦 勝行	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
癌と化学療法 34(4): 597-600, 2007	外科的治療とPaclitaxel, Cisplatin, 5-FluorouracilによるAdjuvant Chemotherapyが奏効した下頸歯肉癌肺転移症例	木浦 勝行	血液・腫瘍内科 呼吸器内科
Experimental Hematology 35(2): 274-286, 2007	Lymphopenia-induced proliferation of donor T cells reduces their capacity for causing acute graft-versus-host disease	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Biochemical and Biophysical Research Communication 355(4): 970-975, 2007	Rapid hematopoietic progenitor mobilization by sulfated colominic acid	Kubonishi S	血液・腫瘍内科
Allergy 62: 415-422, 2007	Hepatocyte growth factor attenuates eotaxin and PGD2-induced chemotaxis of human eosinopils	Kanehiro A	呼吸器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
岡山医学雑誌 118: 243-249, 2007	成人気管支喘息の病態と治療	金廣 有彦	呼吸器内科
Am J Respir Cell Mol Biol 36(3): 324-332, 2007	IL-2 and IL-18 Attenuation of airway hyperresponsiveness requires STAT4, Interferon- γ , and NK Cells	Miyahara N	呼吸器内科
J Immunol 178: 1433-1442, 2007	Naturally occurring lung CD4 $^{+}$ CD25 $^{+}$ T cell regulation of airway allergic responses depends on IL-10 induction of TGF- β 1	Miyahara N	呼吸器内科
J Allergy Clin Immunol 119(5):1241-1250, 2007	IL-10-treated dendritic cells decrease airway hyperresponsiveness and airway inflammation in mice	Miyahara N	呼吸器内科
Am J Respir Crit Care Med 176(1):10-19, 2007	Arhgef1 is required by T cells for the development of airway hyperreactivity and inflammation	Miyahara N	呼吸器内科
J Immunol 179(5): 2787-2796, 2007	CD8 $^{+}$ T cell-mediated airway hyperresponsiveness and inflammation is dependent on CD4 $^{+}$ IL-4 $^{+}$ T cells	Miyahara N	呼吸器内科
J Immunol 179(5): 2961-2968, 2007	Airway hyperresponsiveness through synergy of γ δ T cells and NKT cells	Miyahara N	呼吸器内科
Proc Natl Acad Sci USA 104(38): 15057-15062, 2007	Activation of naturally occurring lung CD4 $^{+}$ CD25 $^{+}$ regulatory T cells requires CD8 and MHC I interaction	Miyahara N	呼吸器内科
Respir Med 101: 561-567, 2007	Distance and oxygen desaturation in 6-min walk test predict prognosis in COPD patients	Takigawa N	呼吸器内科
Oncology Reports 17: 983-987, 2007	Combination of SN-38 with gefitinib or imatinib overcomes SN-38-resistant small-cell lung cancer cells	Takigawa N	呼吸器内科
J Cancer Res Clin Oncol 133(8): 519-524, 2007	Serum level of arginine-vasopressin influences the prognosis of extensive-disease small-cell lung cancer	Umemura S	呼吸器内科
Endocrinology 148: 337-345, 2007	Differential regulation of steroidogenesis by bone morphogenetic proteins in granulosa cells: Involvement of extracellularly regulated kinase signaling and oocyte actions in follicle-stimulating hormone-induced estrogen production.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・ 内分泌内科
Regulatory Peptides 138: 133-140, 2007	Regulatory expression of bone morphogenetic protein-6 system in aldosterone production by human adrenocortical cells.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・ 内分泌内科
Diabetes 56: 363-372, 2007	Macrophage scavenger receptor-a-deficient mice are resistant against diabetic nephropathy through amelioration of microinflammation.	Shikata, K	腎臓・糖尿病・ 内分泌内科
Kidney Int 71: 227-238, 2007	Endostatin peptide, an inhibitor of angiogenesis, prevents the progression of peritoneal sclerosis in a mouse experimental model.	Maeshima, Y	腎臓・糖尿病・ 内分泌内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS ONE 2: e414, 2007	The Role for HNF-1beta-Targeted Collectrin in Maintenance of Primary Cilia and Cell Polarity in Collecting Duct Cells.	Wada, J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Clin Endocr Metab 92: 1145-1154, 2007	Functional single-nucleotide polymorphisms in the secretogranin III (SCG3) gene that form secretory granules with appetite-related neuropeptides are associated with obesity.	Wada, J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Hum Mol Genet 16: 3017-3026, 2007	Association of single-nucleotide polymorphisms in MTMR9 gene with obesity.	Wada, J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetes Res Clin Pract 76: 358-367, 2007	Urinary PGDS levels are associated with vascular injury in type 2 diabetes patients.	Wada, J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol 11: 156-163, 2007	Prevalence of chronic kidney disease (CKD) in the Japanese general population predicted by the MDRD equation modified by a Japanese coefficient.	Makino, H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol 11: 41-50, 2007	Estimation of glomerular filtration rate by the MDRD study equation modified for Japanese patients with chronic kidney disease.	Makino, H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Nephron Clin Pract 106: c43-c50, 2007	Elevated Serum sFlt-1/Ang-2 Ratio in Women with Preeclampsia.	Maeshima, Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科
IgA Nephropathy Today. Contrib Nephrol. 157: 120-124, 2007	Downregulation of the β 1,3-Galactosyltransferase Gene in Tonsillar B Lymphocytes and Aberrant Lectin Bindings to Tonsillar IgA as a Pathogenesis of IgA as a Pathogenesis of IgA Nephropathy.	Sugiyama, H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetes Res Clin Pract 77: 314-319, 2007	Comparison of ventilator threshold and exercise habits between Japanese men with and without metabolic syndrome.	Wada, J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Biochem Biophys Res Commun 356: 1004-1010, 2007	TNF- α inhibits BMP-induced osteoblast differentiation through activating SAPK/JNK signaling.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Hypertens Res 30: 367-373, 2007	Primary Aldosteronism Caused by a Unilateral Adrenal Adenoma Accompanied by Autonomous Cortisol Secretion.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Acta Med Okayama 61: 89-98, 2007	Recruitment of CD16 $^{+}$ Monocytes into Synovial Tissues Is Mediated by Fractalkine and CX3CR1 in Rheumatoid Arthritis Patients.	Yano, R	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetes Care 30: 1577-1578, 2007	Prevention of Transition From Incipient to Overt Nephropathy With Telmisartan in Patients With Type 2 Diabetes.	Makino, H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clinical Nephrol 68: 73-80, 2007	Desmin as a marker of proteinuria in early stages of membranous nephropathy in elderly patients.	Sugiyama, H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Lipid Res 48; 768-781, 2007	The association of C-reactive protein with an oxidative metabolite of LDL and its Implication in atherosclerosis.	Shikata, K	腎臓・糖尿病・内分泌内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Endocrinol 194: 87-99, 2007	Effects of peroxisome proliferator-activated receptor activation on gonadotropin transcription and cell mitosis induced by bone morphogenetic proteins in mouse gonadotrope L β T2 cells.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Am J Physiol Renal Physiol 292: F1513-F1525, 2007	Antagonistic effects of bone morphogenetic protein-4 and -7 on renal mesangial cell proliferation induced by aldosterone through MAPK activation.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Am J Physiol Cell Physiol 293: C1523-C1531, 2007	Edaravone mimics sphingosine-1-phosphate-induced endothelial barrier enhancement in human microvascular endothelial cells.	Shikata, K	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Am J Physiol Renal Physiol 292: F1141-F1150, 2007	Thiazolidinedione ameliorates renal injury in experimental diabetic rats through anti-inflammatory effects mediated by inhibition of NF-kappaB activation.	Shikata, K	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Renin Angiotensin Aldosterone Syst 8: 45-50, 2007	Changes of gene expression profiles in macrophages stimulated by angiotensin II Angiotensin II induces MCP-2 through AT1-receptor.	Shikata, K	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Am J Hypertens 20: 104-107, 2007	Apparent mineralocorticoid excess manifested in an elderly patient with hypothyroidism.	Otsuka, F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Heart Rhythm. 4(4):512-5,2007	Electrophysiologic characteristics of an Andersen syndrome patient with KCNJ2 mutation.	Nagase S	循環器内科
Circulation. 115(25):3165-72,2007	Intramycocardial transplantation of autologous CD34+ stem cells for intractable angina: a phase I/IIa double-blind, randomized controlled trial.	Kusano KF	循環器内科
Nephrol Dial Transplant. 22(4):1190-7,2007	The predictors of central and obstructive sleep apnoea in haemodialysis patients.	Kusano KF	循環器内科
Molecular Therapy 15(1); 69-75, 2007	Therapeutic Angiogenesis Inhibits or Rescues Chemotherapy-induced Peripheral Neuropathy: Taxol-and Thalidomide-induced Injury of Vasa Nervorum is Ameliorated by VEGF	Kusano KF	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 42(2):390-9,2007	Long-term stable expression of human growth hormone by rAAV promotes myocardial protection post-myocardial infarction.	Kusano KF	循環器内科
Intern Med 46:633-635,2007	Granulocytic sarcoma with orbit, cauda equine, muscle and peripheral nerve extension but without bone marrow involvement.	Abe K	神経内科
Eur. J. Neurol. 14:819-822,2007	A unique case of limb-girdle muscular dystrophy type 2A carrying novel compound heterozygous mutations in the human CAPN3 gene.	Abe K	神経内科
J. Neurol. Neurosurg. Psychiatry 78:653-654,2007	PINK1, a gene product of PARK6, accumulates in alpha-synucleinopathy brains	Abe K	神経内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurol. Res. 29:767-771,2007	Increased ER stress during motor neuron degeneration in a transgenic mouse model of ALS.	Abe K	神経内科
Neurol. Res. 29:772-776,2007	Elevation of MCP-1 and MCP-1/VEGF ratio in cerebrospinal fluid of ALS.	Abe K	神経内科
Brain Res. 1176:143-150,2007	Prevention of neuronal damage by calcium channel blockers with antioxidative effects after transient focal ischemia in rats.	Kamiya T	神経内科
Intern. Med. 46 (2007) 751-755	Two cases of spinocerebellar ataxia accompanied by involvement of the skeletal motor neuron system and bulbar palsy.	Kamiya T	神経内科
Brain Res. 1151:142-149,2007	Potentiation of neurogenesis and angiogenesis by G-CSF after focal cerebral ischemia in rats.	Kamiya T	神経内科
J. Neurosci. Res. 85:2167-2174,2007	Decreased focal inflammatory response by G-CSF may improve stroke outcome after transient middle cerebral artery occlusion in rats	Kamiya T	神経内科
Brain Res. 1159; 1-7,2007	Expression of netrin-1 and its receptors DCC and neogenin in rat brain after ischemia	Kamiya T	神経内科
Curr. Neurovasc. Res. 4:268-273, 2007	Macrophage infiltration, Lectin-Like Oxidized-LDL Receptor-1, and Monocyte Chemoattractant Protein-1 are Reduced by Chronic HMG-CoA Reductase Inhibition.	Kamiya T	神経内科
Brain Res. 1132:29-35,2007	Vascular endothelial growth factor promotes brain tissue regeneration with a novel biomaterial polydimethylsiloxane-tetraethoxysilane	Kamiya T	神経内科
脳卒中 29:748-75,2007	シンポジウムV 傷害された脳神経細胞の修復と再生への期待 脳梗塞に対する遺伝子治療. New frontier in gene therapy for acute stroke	神谷 達司	神経内科
Neuropathology 27:49-61,2007	Protein-bound crotonaldehyde accumulates in the spinal cord of superoxide dismutase-1 mutation-associated familial amyotrophic lateral sclerosis and its transgenic mouse model	Takehisa Y	神経内科
Brain Res. 1167:112-117,2007	Increased autophagy in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene	Nagai M	神経内科
Brain Res. 1150:182-189,2007	Early decrease of mitochondrial DNA repair enzymes in spinal motor neurons of presymptomatic transgenic mice carrying a mutant SOD1 gene.	Nagai M	神経内科
Nat. Neurosci. 10:615-622,2007	Astrocytes expressing ALS-linked mutated SOD1 release factors selectively toxic to motor neurons	Nagai M	神経内科
J. Neuropathol. Exp. Neurol. 66:517-524,2007	Motor neuron disease in transgenic mice with an H46R mutant SOD1 gene	Nagai M	神経内科
J. Neuropathol. Exp. Neurol. 66, 1037-1044, 2007	Intrathecal delivery of hepatocyte growth factor from amyotrophic lateral sclerosis onset suppresses disease progression in rat amyotrophic lateral sclerosis model.	Nagai M	神経内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurol. Res. 29, 463-468, 2007	Induction of platelet derived-endothelial cell growth factor in the brain after ischemia.	Deguchi K	神経内科
J. Neurosci. Res. 85, 2246-2252, 2007	Enhanced accumulation of phosphorylated alpha-synuclein in double transgenic mice expressing mutant beta-amyloid precursor protein and presenilin-1.	Kurata T	神経内科
Cancer Sci. 98(4): 535-540, 2007	Translocation of heparanase into nucleus results in cell differentiation.	Naomoto Y	消化管外科
Med Hypotheses. 68(1): 162-165, 2007	Heparanase promotes angiogenesis through Cox-2 and HIF1alpha.	Naomoto Y	消化管外科
J Surg Res, 138(2): 231-240, 2007	Effects of a novel palatinose based enteral formula (MHN-01) carbohydrate-adjusted fluid diet in improving the metabolism of carbohydrates and lipids in patients with esophageal cancer complicated by diabetes mellitus.	Naomoto Y	消化管外科
Int J Mol Med. 20(6) : 793-799, 2007	Squamous cell carcinomas of the esophagus arise from a telomere-shortened epithelial field.	Naomoto Y	消化管外科
Curr Med Chem. 14(14):1573-8. 2007	Pancreas development and beta-cell differentiation of embryonic stem cells.	Kobayashi N	消化管外科
Nat Protoc. 2(2):347-56. 2007	Differentiation of mouse embryonic stem cells to hepatocyte-like cells by co-culture with human liver nonparenchymal cell lines.	Kobayashi N	消化管外科
Transplantation. 2007 Jan 27;83(2):129-37.	Construction and transplantation of an engineered hepatic tissue using a polyaminourethane-coated nonwoven polytetrafluoroethylene fabric.	Kobayashi N	消化管外科
J. Int. Med. Res. 35, 450-457 2007	No duplicate KRAS mutation is identified on the same allele of gastric or colorectal cancer cells with multiple KRAS mutations.	Matsubara N	消化管外科
J Hepatol, 47(1): 74-82, 2007	Survival of liver failure pigs by transplantation of reversibly immortalized human hepatocytes with Tamoxifen-mediated self-recombination.	Kobayashi N	消化管外科
Diabetes, 56(5): 1259-1267, 2007	Cell-permeable pentapeptide V5 inhibits apoptosis and enhances insulin secretion, allowing experimental single-donor islet transplantation in mice.	Kobayashi N	消化管外科
J Surg Res, 137(1): 130-140, 2007	A bioartificial liver device secreting interleukin-1 receptor antagonist for the treatment of hepatic failure in rats.	Kobayashi N	消化管外科
Gut. 2007 Jan;56(1):13-9.	Oesophageal squamous cell carcinoma may develop within a background of accumulating DNA methylation in normal and dysplastic mucosa.	Matsubara N	消化管外科
Gastroenterology 133:1849-1857 2007	Epigenetic and Genetic Alterations in Netrin-1 Receptors UNC5C and DCC in Human Colon Cancer.	Matsubara N	消化管外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncol. Rep. 18, 1123-1127 2007	Microsatellite instability and clinicopathological features in esophageal squamous cell cancer.	Matsubara N	消化管外科
Oncol. Rep. 17(6):1461-1467 2007	Depletion of O6-methylguanine-DNA methyltransferase by O6-benzylguanine enhances 5-FU cytotoxicity in colon and oral cancer cell lines.	Matsubara N	消化管外科
Eur J Dermatol 17: 217-219, 2007	A novel fusion gene of collagen type I alpha 1 (exon 31) and platelet-derived growth factor B-chain (exon 2) in dermatofibrosarcoma protuberans.	Nakanishi G	皮膚科
Brain and Nerve 59: 331-338, 2007	最近注目される脳神経疾患治療の研究 視機能再生工学 光電変換色素をポリエチレン・フィルムに固定した人工網膜（岡山大学方式人工網膜）の開発	松尾 俊彦	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology 51: 131-138, 2007	Eye manifestations in patients with perinuclear antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: case series and literature review.	Matsuo T	眼科
British Journal of Ophthalmology 91: 888-890, 2007	Visual acuity and perimacular retinal layers detected by optical coherence tomography in patients with retinitis pigmentosa.	Matsuo T	眼科
日本眼科紀要 58: 153-157, 2007	網膜色素変性の白内障手術結果と患者の満足度 ロービジョンケアの立場からの考察	松尾 俊彦	眼科
人工臓器 36(1):130-133, 2007	脳神経再生一パーキンソン病と脳虚血の治療をめざして一.	伊達 黙	脳神経外科
日本老年医学会雑誌 44(1):72-75, 2007	神経疾患と神経再生一パーキンソン病と脳虚血を中心に一.	伊達 黙	脳神経外科
老年期痴呆研究会誌 14:173-175, 2007	再生医学の立場からみたパーキンソン病.	伊達 黙	脳神経外科
Cognition and Dementia 6(1):18-24, 2007	成体由来神経幹細胞の有用性一臨床応用をめざして一.	伊達 黙	脳神経外科
Stroke 38(4):1354-1361, 2007	Novel protein transduction method by using 11R: an effective new drug delivery system for the treatment of cerebrovascular diseases.	Ono S	脳神経外科
European Journal of Neuroscience 26:1462-1478, 2007	Adult neural stem and progenitor cells modified to secrete GDNF can protect, migrate and integrate after intracerebral transplantation in rats with transient forebrain ischemia.	Shingo T	脳神経外科
脳神経外科 35(8):823-829, 2007	成体由来神経幹細胞の自家移植.	新郷 哲郎	脳神経外科
てんかん治療研究振興財団研究年報 18:29-36, 2007	側頭葉てんかんモデルに対する内因性神経幹細胞を用いた神経再生療法の検討.	新郷 哲郎	脳神経外科
Neuroscience 149:182-191, 2007	Lack of exercise, via hindlimb suspension, impedes endogenous neurogenesis.	Yasuhara T	脳神経外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Medica Okayama 61:51-56, 2007	Glial cell line-derived neurotrophic factor (GDNF) therapy for Parkinson's disease.	Yasuhara T	脳神経外科
Cell Transplantation 16:125-132, 2007	Intracerebral transplantation of genetically engineered cells for Parkinson's disease.	Yasuhara T	脳神経外科
Curr Mol Med 7:609-618, 2007	Nanotechnology as an adjunct tool for transplanting engineered cells and tissues.	Yasuhara T	脳神経外科
機能的脳神経外科 46:135-139, 2007	パーキンソン病に対する視床下核刺激療法の生活の質に及ぼす効果—PDQ-39質問紙による主観的評価を用いて—	松井 利浩	脳神経外科
脳神経外科速報 17(7):832-838, 2007	脳腫瘍幹細胞 (brain tumor stem cell)	神原 啓和	脳神経外科
脳神経外科専門医をめざすための経験すべき手術44, 河瀬編, メディカルビュー, 東京 pp278-285, 2007	定位脳手術 (脳深部刺激)	上利 崇	脳神経外科
Anesth Analg 105(3): 809-814, 2007	Epidural blood patch therapy for chronic whiplash-associated disorder.	Morita K	麻酔科蘇生科
Anesth Analg 104(4): 936-943, 2007	Altered response to formalin by L5 spinal nerve ligation in rats: a behavioral and molecular study.	Morita K	麻酔科蘇生科
Biochem Biophys Res Commun 362(3): 682-688, 2007	Expression profiles of BDNF splice variants in cultured DRG neurons stimulated with NGF.	Morita K	麻酔科蘇生科
Int J Mol Med 19(2): 237-243, 2007	A neutrophil elastase inhibitor, sivelestat, ameliorates lung injury after hemorrhagic shock in rats.	Morita K	麻酔科蘇生科
J Neurosurg Anesthesiol 19(3):171-178, 2007	Quantitative evaluation of the neuroprotective effects of thiopental sodium, propofol, and halothane on brain ischemia in the gerbil: effects of the anesthetics on ischemic depolarization and extracellular glutamate concentration.	Morita K	麻酔科蘇生科
Pediatr Infect Dis J 2007 Jun; 26(6): 542-4	Matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitors of metalloproteinases 1 in influenza-associated encephalopathy.	Morishima T	小児科
Brain Dev 2007 Aug;29(7): 425-30 Equib 2007 Feb 6	Serum levels of cytokines and EEG findings in children with influenza associated with mild neurological complications.	Morishima T	小児科
Acta Med Okayama 2007 Oct;61(5): 271-81	Self-esteem in children with psychosomatic symptoms: examination of low self-esteem and prognosis.	Morishima T	小児科
Acta Med Okayama 2007 Oct;61(5): 261-9	A study of psycho-pathology and treatment of children with phagophobia.	Morishima T	小児科
Pediatr Int 2007 Oct;49(5): 564-9	Mutations in type I collagen genes in Japanese osteogenesis imperfecta patients.	Morishima T	小児科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bone 2007 Aug;41(2): 273-81 Eqeb 2007 Feb 9	Sustatined Phosphorylation of FGFR3 is a crucial feature of genetic dwarfism and induces apoptosis in the ATDC5 chondrogenic cell line via PLCgamma-activated STAT1.	Morishima T	小児科
Epilepsia 49: 521-526, 2008.	Rasmussen encephalitis associated with SCN1A mutation.	Ohtsuka Y	小児神経科
J Thorac Oncol. 3:283-8,2008	A novel strategy for treatment of metastatic pulmonary tumors: radiofrequency ablation in conjunction with surgery.	Kanazawa S	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 19:462-4,2008	Radiofrequency ablation of functioning lung metastases from parathyroid carcinoma.	Kanazawa S	放射線科
J Thorac Cardiovasc Surg. 134:1306-12,2007	Percutaneous radiofrequency ablation for clinical stage I non-small cell lung cancer: results in 20 nonsurgical candidates.	Kanazawa S	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 18:1264-9,2007	Percutaneous radiofrequency ablation for pulmonary metastases from colorectal cancer: midterm results in 27 patients.	Kanazawa S	放射線科
Acta Med Okayama. 61:177-80,2007	Radiofrequency ablation followed by radiation therapy for large primary lung tumors.	Kanazawa S	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 18:733-40,2007	Percutaneous radiofrequency ablation of lung tumors close to the heart or aorta: evaluation of safety and effectiveness.	Kanazawa S	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol. 30(4):765-9,2007	Transhepatic approach for percutaneous computed-tomography-guided radiofrequency ablation of renal cell carcinoma.	Kanazawa S	放射線科
Cancer. 109:1397-405,2007	Feasibility of percutaneous radiofrequency ablation for intrathoracic malignancies: a large single-center experience.	Kanazawa S	放射線科
Ann Nucl Med. 22:31-9,2008	Assessment of mean transit time in the transplanted lung with ^{133}Xe lung ventilation scintigraphy improves diagnosis of bronchiolitis obliterans syndrome in living-donor lobar lung transplant recipients.	Kanazawa S	放射線科
Mini-Reviews in Medicinal Chemistry 7: 745-753, 2007	Heme Oxygenase-1: A Fundamental Guardian Against Oxidative Tissue Injuries in Acute Inflammation	Takahashi T	集中治療部
American Journal of Transplantation 7: 2279-90, 2007	Carbon Monoxide Protects Rat Lung Transplants From Ischemia-Reperfusion Injury via a Mechanism Involving p38 MAPK Pathway.	Takahashi T	集中治療部
Shock 29: 252-261, 2008	PROTECTIVE ROLE OF HEME OXYGENASE 1 IN THE INTESTINAL TISSUE INJURY IN HEMORRHAGIC SHOCK IN RATS	Katayama H	集中治療部
International Journal of Molecular Medicine 21: 75-81, 2008	Increased exhaled carbon monoxide concentration during living donor liver transplantation	Mastumi M	麻酔部
関節外科 26(11) : 109-110, 2007	人工筋肉によるリハビリテーション支援	千田 益生	総合リハビリテーション部

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplantation 83(2): 220-224, 2007	Predominant infiltration of monocytes in chronic Graft-Versus-Host disease	Namba N	輸血部
Blood 109(4): 1756-1764, 2007	Donor-derived thymic-dependent T cells cause chronic graft-versus-host disease	Sakoda Y	輸血部
Curr Cancer Drug Targets. 2007 Mar;7(2):191-201.	Telomerase-specific oncolytic virotherapy for human cancer with the hTERT promoter.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Endoscopy, Suppl 1: E 191-2, 2007	Advanced gastric adenocarcinoma mimicking a submucosal tumor.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Cancer Sci, 98(7): 1113-1119, 2007	Immunological evaluation of personalized peptide vaccination in combination with a 5-fluorouracil derivative (TS-1) for advanced gastric or colorectal carcinoma patients.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Dig Dis Sci, 52(11): 3184-3187, 2007	Adenomyoma of the stomach presenting as localized peritonitis.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Lung Cancer, 57(1):103-108, 2007	Clonality and heterogeneity of pulmonary blastoma from the viewpoint of genetic alterations: a case report.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Clin Cancer Res, 13(1): 111-120, 2007	Clonal and parallel evolution of primary lung cancers and their metastases revealed by molecular dissection of cancer cells.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Biochem Biophys Res Co, 361(3): 580-585, 2007	Knock down of hSNF5/Inil causes cell-cycle arrest and apoptosis in a p53-dependent manner.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Catheter Cardiovasc Interv. 2007; 69: 866-871	Differences in right and left ventricular remodeling after transcatheter closure of atrial septal defect among adults.	Akagi T	循環器疾患治療部
Circ J. 2007;71: 613-616	Left ventricular retraining and anatomic correction in teenage patient with congenitally corrected transposition of the great arteries.	Akagi T	循環器疾患治療部
Cancer Chemother Pharmacol 60(1): 53-59,2007	A triplet chemotherapy with cisplatin, docetaxel and gemcitabine in patients with advanced non-small-cell lung cancer: a phase I / II study	Tabata M	腫瘍センター
Cancer Chemother Pharmacol 60(1): 1-6, 2007	A phase II of cisplatin and irinotecan alternating with doxorubicin,cyclophosphamide and etoposide in previously untreated patients with extensive-disease small-cell lung cancer	Tabata M	腫瘍センター
日本歯周病学会誌 49:71-76,2007	多血小板血漿(Platelet Rich Plasma;PRP)と自家骨移植を併用した歯周組織再生療法の評価	高柴 正悟	歯周科
Biochemical and Biophysical Research Communications 351(7):20-25,2007.	Promotion of Attachment of Human Bone Marrow Stromal Cells by CCN2	Kuboki T	補綴科 (クラウン・リッジ)
Archives of Oral Biology 52(8):797-802,2007	Responses of the hypothalamic-pituitary-adrenal axis and pain threshold changes in the orofacial region upon cold pressor stimulation in normal volunteers	Kuboki T	補綴科 (クラウン・リッジ)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Key Engineering Materials 131-134:2007	Cell proliferation on titanium layer with in vitro apatite forming ability	Kuboki T	補綴科 (クラウンブリッジ)
Neuroscience 144:665-674,2007.	Two types of neurotransmitter release patterns in IB4-positive and negative trigeminal ganglion neurons	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
Alcoholism:Clinical and Experimental Research 31:855-867,2007	Bi-directional alterations of hippocampal cannabinoid 1 receptors and their endogenous ligands in a rat model of alcohol withdrawal and dependence.	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of biomedical materials research Part A; 82:195-200, 2007.	Chemical interaction of polyphosphoric acid with titanium and its effect on human bone marrow derived mesenchymal stem cell behavior	Maekawa K	補綴科 (クラウンブリッジ)
Clinical oral implants research 19(3):320-325, 2008.	Effect of polyphosphoric-acid pre-treatment of titanium on attachment, proliferation and differentiation of osteoblast like cells (MC3T3-E1)	Maekawa K	補綴科 (クラウンブリッジ)
Archives of Oral Biology 52(5):479-86,2007	Muscle contraction accelerates IL-6 mRNA expression in the rat masseter muscle	Maekawa K	補綴科 (クラウンブリッジ)
Nature Medicine 13(10):1219-1227,2007	Identification of Tendon Stem/Progenitor Cells and the Role of the Extracellular Matrix in Their Niche	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of Biological Chemistry 282(42):30938-30948, 2007	Non-canonical Wnt-4 Signaling Enhances Bone Regeneration of Mesenchymal Stem Cells in Craniofacial Defects through Activation of p38 MAPK	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Stem Cells 25(4):1021-1028,2007	Transplantation of Mesenchymal Stem Cells is an Optimal Approach for Plastic Surgery	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of Dental Research 86(7):594-599,2007	Human Hertwig's Epithelial Root Sheath Cells Play Crucial Roles in Cementum Formation	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of Craniofacial Surgery, 18(5) 1138-1141, 2007.	A custom-made sealing screw cap for closed hollow obturator.	Nishigawa G	補綴科 (咬合・義歯)
Journal of Oral Rehabilitation, Jan; 35(1):73-8, 2008.	Nasal speaking valve: a device for managing velopharyngeal incompetence.	Minagi S	補綴科 (咬合・義歯)
Acta Histochem110(3): 217-223, 2007	Histological comparison of bone induced from autogenously grafted periosteum with bone induced from autogenously grafted bone marrow in the rat calvarial defect model.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Annals of Plastic Surgery59(6):707-712, 2007	The evaluation of bone formation of the whole tissue periosteum transplantation in combination with beta-tricalcium phosphate (TCP).	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Journal of Hard Tissue Biology16(2): 50-53 2007	Evaluation of osteogenic potential of cultured periosteum derived cells--preliminary animal study.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Journal of Hard Tissue Biology16(2): 87-90 2007	Clinical investigation of dental implant reconstruction for grafted alveolar cleft patients.	Ueno T	口腔外科 (再建系)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
口腔衛生学会雑誌 57:632-639,2007	8~10年間のメインテナンス患者における歯の喪失状況と喪失に関連する要因	山本 龍生	予防歯科
Journal of Periodontology 78:2165-2170,2007	Oral administration of vitamin C prevents alveolar bone resorption induced by high dietary cholesterol in rats	Tomofuji T	予防歯科
Journal of Clinical Periodontology 35:215-220,2008	Correlation between periodontal status and biting force in patients with chronic periodontitis during the maintenance phase of therapy	Yamamoto T	予防歯科
日本小児歯科学雑誌 45, 503-509, 2007	蛍光反射装置を用いた定期健診中の初期齶歯の評価	平野 慶子	小児歯科

計 190

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 森田 潔
管理担当者氏名	総務課長 中西 治幸、医事課長 菅原 秀倫 各診療科長、中央放射線部長 金澤 右、医療情報部長 太田 吉夫 薬剤部長事務取扱 千堂 年昭、看護部長 保科 英子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			
病院日誌	各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課 各診療科 医療情報部 医事課	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式として保管している。 X線写真は、1患者1ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。
処方せん		薬剤部	
	エックス線写真	中央放射線部	
病院の 管理及 び運営 に關す る諸記 録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	確規保則の第9条の23及び第11条の各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部

病院の 管理及 び運営 に關す る諸記 録	規 則 第 1 条 の 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	院内感染のための指 針の策定状況	保管場所	分類方法
		院内感染対策のため の委員会の開催状況	総務課 医事課	
		従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善のための方策の 実施状況	感染制御部 医事課 総務課	
		医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善のための方策の 実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	総務課	
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	医療機器安全管理室 医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者	事務部長 長島 一博
閲覧担当者氏名	総務課長 中西 治幸
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟3階小会議室（病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所）

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延 0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.2 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 出 根 拠	A : 紹介患者の数		16,350 人
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,870 人
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,075 人
	D : 初診患者の数		27,756 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A, B, Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A, B, C, Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名) · 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) · 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	(有) · 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（11）名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故防止委員会の運営に関すること。・ 医療事故防止対策の立案に関すること。・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関すること。・ リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。・ 安全管理に関する教育・研修の企画運営に関すること。・ その他医療事故の防止・医療の安全性の向上に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) · 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) · 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 安全管理に関する基本的な考え方・ 安全管理の体制確保のための委員会の組織規約・ 医療事故発生時の対応方法・ 各部門ごとの安全管理マニュアル・ 患者からの相談への対応に関する基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故の防止及びその対策に関すること。・ 医療事故防止マニュアルの作成に関すること。・ 医療事故防止の教育・研修に関すること。・ その他医療事故の防止に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ ロールプレイで学ぶ医療安全とコミュニケーション・ 危険予知活動（KYK）と指差し呼称・ あなたは知っていますか？－AEDを用いた心肺蘇生法－	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) · 無)・ 他の改善の方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">マニュアル整備、インシデントレポートシステム、リスクマネジャー配置、医療事故等調査委員会、院内研修、院内相互チェック実施	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況		(有・無)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <p>1)院内感染対策に関する基本的考え方 2)委員会について 3)感染制御部の業務内容 4)院内感染対策のための職員教育および研修 5)感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6)院内感染発症時の対応に関する基本方針 7)患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8)その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>											
② 院内感染対策のための委員会の開催状況		年 56 回									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">感染予防対策委員会</td><td style="width: 10%;">1回／月</td><td style="width: 60%;">合計12回</td></tr> <tr> <td>ICT全体会議</td><td>1回／月</td><td>合計12回</td></tr> <tr> <td>感染制御部スタッフ会議</td><td>2回／月</td><td>合計21回</td></tr> </table> <p>以上3委員会はそれぞれ連携して以下の活動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス ② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理 ③ 抗菌薬使用の管理 ④ ICTとの連携 ⑤ 重症感染症および特殊感染症の診断および治療に関するコンサルテーション ⑥ 感染予防対策に関する教育および研修の企画運営 ⑦ 針刺しおよび体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応および予防対策の立案指導 ⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導（結核、流行性疾患など） ⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導 ⑩ その他感染予防対策上の問題に関与する。 <p>看護部感染対策委員会 1回／月 合計11回 手指衛生のコンプライアンスの測定と改善 感染防止の視点からの看護手順の作成 医療廃棄物の適切な処理の状況把握と指導</p>			感染予防対策委員会	1回／月	合計12回	ICT全体会議	1回／月	合計12回	感染制御部スタッフ会議	2回／月	合計21回
感染予防対策委員会	1回／月	合計12回									
ICT全体会議	1回／月	合計12回									
感染制御部スタッフ会議	2回／月	合計21回									
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		年 40 回									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <p>1) 全職員対象感染対策講習会 2回／年（同じ内容で2回ずつ計4回） ① Standard Precautions、結核の院内感染防止、針刺し切り傷・血液曝露事故防止 ② 抗菌薬の使い方、尿路感染防止</p> <p>2) 新採用者研修 1回／年</p> <p>3) 中途採用者研修 2回／年</p> <p>4) 主に看護師対象感染防止技術研修会 年12回 <内容>感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など</p> <p>5) 部署別手指衛生教育 合計23回 <内容>手指衛生の重要性と方法</p>											
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有・無)) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : その年のスローガンを決め、強化をする。 平成19年度は、手指衛生のコンプライアンスの改善をスローガンとし、手指衛生コンプライアンスの測定と、アルコール手指消毒剤の使用状況をの把握、手指衛生教育の充実や手指衛生に関する川柳展などを行った。 											

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項（対象：薬剤師） ・ 薬剤業務に関わる事故防止対策の周知徹底（対象：薬剤師） ・ 医薬品のリスクマネジメントおよび医薬品の基礎知識の向上（対象：新規採用看護師） ・ 服薬指導から見たリスクマネジメント（対象：医療従事者） ・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応（施設内での報告、行政機関への報告等）に関する事項（対象：医療従事者） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 ((有)・無) ・ 業務の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の採用・購入に関すること ・ 医薬品の管理に関すること（麻薬を含む。） ・ 患者の持参薬歴情報等の収集こと、処方せんの記載に関すること ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関すること ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関すること ・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関すること 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内薬剤部ホームページにて、医薬品・医療機器等安全性情報やドラッグインフォメーションを掲載し、周知している。 ・ 薬剤管理指導業務の一環として、病棟にて医療従事者に直接情報を提供している。 ・ リスクマネージャー会議などで事故防止・対策の周知を図っている。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 83回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新しい医療機器導入時の研修<ul style="list-style-type: none">・ 人工呼吸器・内視鏡装置・生化学自動分析装置・放射線装置 等・ 定期研修<ul style="list-style-type: none">・ 人工心肺装置及び補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 等・ その他の研修<ul style="list-style-type: none">・ 各種医療機器の使用方法、保守点検等に関する研修 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有)・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">保守点検の計画に従い、日常点検及び定期点検を定期的に実施している。<ul style="list-style-type: none">・ 日常点検<ul style="list-style-type: none">始業時点検・使用後点検 等・ 定期点検<ul style="list-style-type: none">一部の医療機器については、業者へ点検を委託している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無)・ その他の改善の方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る安全管理体制の確保及び必要な措置を行うため「医療機器安全管理室」を設置し、医療機器の安全使用に関する情報収集及び情報の整理・管理を行い、関係部署への情報提供・院内周知等を行っている。	